

2023 年度 日本線虫学会 第 30 回大会プログラム (8 月 22 日最終版)

会 期 2023 年 9 月 6 日 (水) ~ 7 日 (木)

大会会場 法政大学小金井キャンパス東館 (JR 中央線東小金井駅下車、徒歩 20 分)
(〒184-8584 小金井市梶野町 3-7-2 TEL : 042-387-6406 (事務室))

9 月 6 日 (水)

10:30~12:00 評議員会 東館 2 階 E204

12:00~ 受付

13:00~13:45 口頭発表 東館 2 階 E201 教室 座長:浴野 泰甫

13:00~13:15 O1 (P28) 杉山 大騎

昆虫病原性線虫 *Steinernema monticolum* KHA701 の共生細菌叢および
殺虫活性評価

13:15~13:30 O2 (P29) 藤森 友太

昆虫寄生性 Tylenchida 目線虫における繁殖様式の多様性とスイッチング

13:30~13:45 O3 鳴尾 一穂 イネネコブセンチュウの発育温度について

13:45~14:30 口頭発表 東館 2 階 E201 教室 座長:佐藤 一輝

13:45~14:00 O4 (P30) 市石 宙 線虫感染性の細胞内共生細菌の探索と特性解明

14:00~14:15 O5 (P31) 山下 達矢 線虫における胎生は繰り返し出現する

14:15~14:30 O6 (P27) 玉木 芳明

Caenorhabditis elegans の交尾栓は交尾中の接着剤?

14:30~14:40 休憩

14:40~17:10 ポスター発表 2 階体育館前フリースペース

コアタイム: 奇数番号 14:40~15:40

偶数番号: 15:40~16:40

自由な討論タイム: 16:40~17:10

17:15~19:30 情報交換会 B1F 階 生協食堂

9月7日(木)

9:00～ 受付

9:30～10:45 口頭発表 東館2階 E201教室 座長：青山 理絵

9:30～9:45 O7 酒井 啓充

福岡県の大豆圃場から検出したマメシストセンチュウについて

9:45～10:00 O8 岩堀 英晶

数種有機物資材を用いた土壌還元消毒による線虫密度低減効果

10:00～10:15 O9 伊藤 賢治

緑肥用トマト「KGM201」によるジャガイモシロシストセンチュウ防除

10:15～10:30 O10 村田 岳

アレナリアネコブセンチュウ本州型の各種特徴に関する総合的考察

10:30～10:45 O11 小角 拓也

ホスチアゼートに対するネコブセンチュウ3系統の感受性と防除効果

10:45～11:00 休憩

11:00～12:00 口頭発表 東館2階 E201教室 座長：坂田 至

11:00～11:15 O12 藤川 碧

複数の殺線虫剤に感受性低下を示した *Meloidogyne incognita* 個体群の
解毒酵素機能解析

11:15～11:30 O13 岡 雄二

ネコブセンチュウを利用した忌避物質とその利用の生物検定法

11:30～11:45 O14 二井 一禎 マツ材線虫病：新しい感染環の提案

11:45～12:00 O15 門田 康弘 植物による線虫認識機構の解明

12:00～13:15 お昼休み

13:15～14:15 口頭発表 東館2階 E201教室 座長：村田 岳

13:15～13:30 O16 浴野 泰甫

マツノザイセンチュウにおける感覚ニューロンの細胞体位置の把握

13:30～13:45 O17 坂田 至

土壌由来夾雑物ごと抽出したDNAを用いたリアルタイムPCRによる
ジャガイモシロシストセンチュウ類の定量

13:45～14:00 O18 佐藤 一輝

RNA結合タンパク質を標的とする線虫エフェクターの機能解析

14:00～14:15 休憩

14:15～16:15 シンポジウム 東館 2階 E201 教室

座長：河野辺 雅徳

「線虫学の歴史から学ぶ持続可能な作物生産体系」

(Learning from nematology history for future sustainable crop production)

S1 奈良部 孝

S2 Roland N. Perry

16:15～16:45 総会・授賞式・閉会式 東館 2階 E201 教室

口頭発表者への案内

口頭発表の講演時間は、討論時間を含めて1題15分（発表10分、質疑4分、交代1分）です。口頭発表はPCプロジェクターを用いて行いますので、各自のノートPCをご持参ください。なお、学会事務局で準備するPCをお使いになる場合には、発表当日に受付まで持ってきてください。PCの仕様はWindows 10、対応ソフトはMicrosoft Power Point 2013です。なお、口頭発表者で優秀発表賞へのエントリーを希望する方は、下記の要領でポスターも作成してください。

ポスター発表者への案内

・ポスターは、ポスターボードではなく、壁に直接貼り付けられますので特にサイズの指定はありませんが、一般的なサイズ（900×1,800 mm）を目安に作成してください。なお、ポスターを貼り付ける道具は大会事務局で用意します。

・学生のポスター発表者ならびに若手優秀発表賞にエントリーした発表者は、ポスターを縮小印刷したPDFファイルを、9月3日（日）までに大会事務局あてにお送りください（kokit@cc.tuat.ac.jp）。

・ポスター発表は9月6日（水）14時40分より開始しますので、それまでにポスターを掲示してください。また、掲示いただいたポスターは9月7日（木）の閉会式（16時15分）の前までに回収してください。閉会式終了後に掲示してあるポスターに関しては、事務局で処分させていただきます。

ポスター発表

- P1 吉富 恭果 樹液内環境に生息する線虫 *Bursaphelenchus tadamiensis* の環境耐性
- P2 鈴木 芳代 線虫実験を高精度・高効率化する QST の量子バイオ技術
- P3 岡田 浩明 植物根系に発生したシストセンチュウ雌成虫個体数の「シート根箱」による推定
- P4 青柳 合歓 N-アセチルチロシンが *C.elegans* の寿命やストレス耐性に与える影響
- P5 大島 弥澄 赤土によるサツマイモネコブセンチュウの抑制効果
- P6 當銘 由薫 九州・沖縄でのカタツムリ・ナメクジに便乗・寄生する線虫の探索
- P7 森 太 イモグサレセンチュウのニンニクへの感染経路について
- P8 坪内 春太 昆虫病原性細菌 *Bacillus thuringiensis* 芽胞と栄養細胞のダイズシストセンチュウ二期幼虫への作用
- P9 竹田 奏斗 ササクレヒトヨタケの線虫捕捉器官の形態的学的特徴
- P10 福田 純太 ダイズシストセンチュウにおける温度センシング遺伝子の解析
- P11 宗 詩晨 生物防除のために糸状菌食性線虫の探索
- P12 佐伯 靖将 ダイズシストセンチュウの宿主認識行動を制御する遺伝子の機能解析
- P13 今尾 陽太 スギ人工林と広葉樹二次林の境界部の土壌線虫群集構造
- P14 池田 雄哉 胎生線虫 *Tokorhabditis atripennis* の生態解明に向けた調査
- P15 周藤 充哉 緑肥圃場における自活性線虫相の変化
- P16 Fitriah Azizan Transgenesis in genetically nematode *Bursaphelunchus okinawaensis* for plant-parasitic nematodes studies
- P17 吉賀 豊司 佐賀大学のショウジョウバエに便乗する線虫
- P18 Puping Ta-oun The chemical attraction of *Steinernema siyamkayai* against insects
- P19 松村 龍一 異なる高さのスギ樹皮に生息する線虫の分子系統学的位置と群集構造
- P20 土井 健太郎 *Bursaphelenchus* 属線虫の交尾特性
- P21 加賀 航士郎 異なる環境に生息するケラ宿主と寄生性線虫種の比較
- P22 大津 美奈 クローバーシストセンチュウに対する誘引物質の探索に向けて
- P23 神崎 菜摘 長野県菅平高原のハナバチ類より分離された *Pristionchus* 属未記載種
- P24 与謝野 舜 ベルマン法、ふるい分け法によるナガイモからのネグサレセンチュウの分離効率
- P25 岩瀬 紘幸 銅イオンと鉄イオンがサツマイモネコブセンチュウの活性に及ぼす影響
- P26 長江 星八 ヤケヤスデ科宿主と寄生性線虫の共進化と地理的分布
- O1 (P28) 杉山 大騎 昆虫病原性線虫 *Steinernema monticolum* KHA701 の共生細菌叢および殺虫活性評価
- O2 (P29) 藤森 友太 昆虫寄生性 Tylenchida 目線虫における繁殖様式の多様性とスイッチング
- O4 (P30) 市石 宙 線虫感染性の細胞内共生細菌の探索と特性解明
- O5 (P31) 山下 達矢 線虫における胎生は繰り返し出現する
- O6 (P27) 玉木 芳明 *Caenorhabditis elegans* の交尾栓は交尾中の接着剤？

2023 年度 日本線虫学会若手研究者優秀賞について

2023 年 9 月 6 日～7 日にかけて開催する日本線虫学会東京大会では、若手研究者優秀賞を設けます。

1) 学部生および大学院生を対象とする学生優秀発表賞、2) 博士号取得後 5 年以内、あるいは、大学もしくは大学院を卒業後 10 年以内の若手研究者を対象とした若手研究者優秀賞です。

発表形式に口頭発表とポスター発表の 2 つがありますが、今回はポスター発表のみを賞の対象とします。したがって、口頭発表を希望された方で、賞へのエントリーを希望する方は、別途ポスターを作成してください。また、発表申込時にどちらでもよい、を選択された方は原則、ポスター発表のみを行ってください。

選考委員会は編集委員、学会事務局、大会事務局ならびに評議員から構成し、研究発表の内容と質、発表技術、説得力、波及効果などから総合的に評価し、選抜します。なお、受賞者には賞状と副賞を授与します。

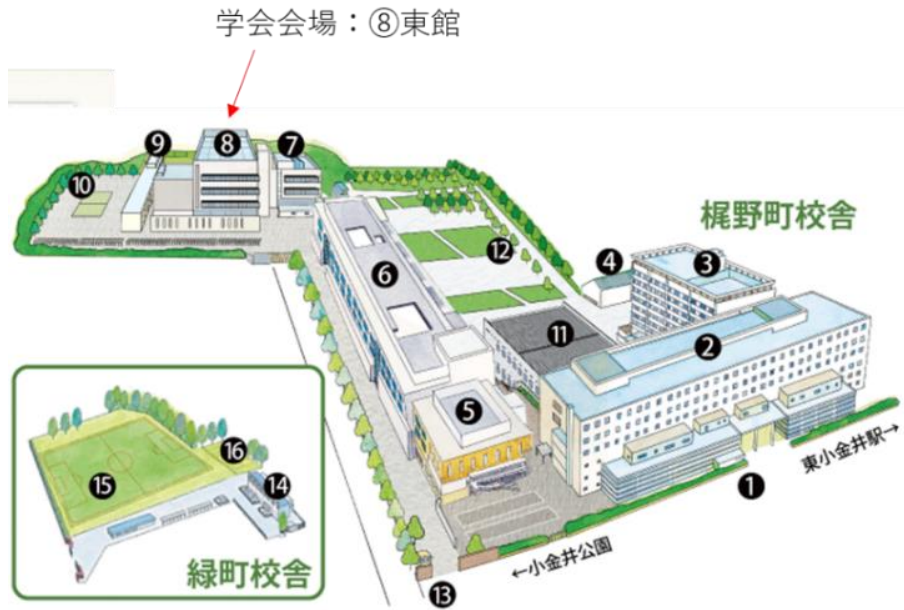
- 1) はポスター発表の方をすべて対象とします。学生で口頭発表を希望した方、および
- 2) に関しては若手研究者優秀賞にエントリーするかどうか確認のメールを出しますので、ご返信ください。

*選考の効率化のために、ポスター発表に使うポスターの PDF 版を 9 月 3 日（日）までに添付ファイルとしてお送りください (kokit@cc.tuat.ac.jp)。

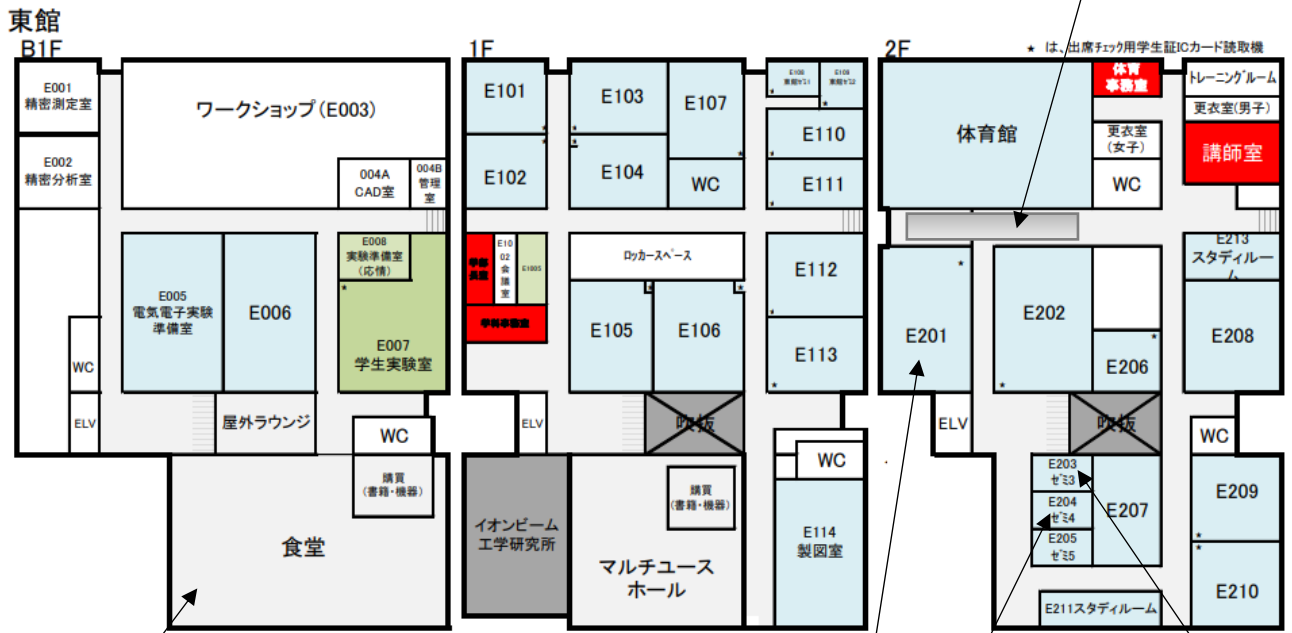
◇ 会場周辺 MAP (JR 中央線東小金井駅下車、北側へ徒歩約 20 分)



◇ 法政大学小金井キャンパス MAP (学会会場は梶野町校舎の⑧の東館 2 階です)



ポスター発表
体育館前フリースペース



情報交換会 地下 1 階生協食堂

口頭発表・シンポジウム・
総会 E201 教室

評議員会
E204 教室

大会事務局
E203 教室